

1 [2003センター]

△ABCにおいて、 $AB=5$, $BC=2\sqrt{3}$, $CA=4+\sqrt{3}$ とする.

このとき、 $\cos A = \frac{\text{ア}\square}{\text{イ}\square}$ である.

△ABCの面積は $\frac{\text{ウエ}\square + \text{オ}\square\sqrt{\text{カ}\square}}{2}$ であり、△ABCの外接円Oの半径

は $\frac{\text{キ}\square\sqrt{\text{ク}\square}}{\text{ケ}\square}$ である.

Bを通りCAに平行な直線と円Oとの交点のうち、Bと異なる方をDとする.

このとき、 $CD = \square$, $BD = \square - \sqrt{\square}$ であり、台形ADBCの面積は \square である.

2 [2003センター]

(1) 一般に A, B を定数とすると、 $x \geq 0$ を満たすすべての x に対して、 x の1次不等式 $Ax + B > 0$ が成り立つ条件は $A \geq \square$ かつ $B > \square$ である.

(2) $x \geq 0$ を満たすすべての x に対して、不等式 $(x+1)\sin^2\alpha + (2x-1)\sin\alpha\cos\alpha - x\cos^2\alpha > 0$ ……① が成り立つような α の値の範囲を求めよう. ただし、 $0^\circ \leq \alpha \leq 180^\circ$ とする. $x \geq 0$ を満たすすべての x に対して、①が成り立つ条件は

$$\sin \square \alpha \geq \cos \square \alpha \quad \text{かつ} \quad \sin \square \alpha > \sin \alpha \cos \alpha$$

が成り立つことである.

これより、求める α の値の範囲は $\square^\circ < \alpha \leq \square^\circ$ である.

3 [2003センター]

四角形 ABCD が $AB=2+2\sqrt{3}$, $\angle ABC=60^\circ$, $BC=4$, $AD=3\sqrt{2}$,

$\cos \angle ADC = \frac{\sqrt{6}}{3}$ を満たすとする.

このとき, 対角線 AC の長さは $\sqrt{\text{ア}} \sqrt{\text{イ}}$ であり,

$\cos \angle ACB = \frac{\sqrt{\text{ウ}} - \sqrt{\text{エ}}}{\text{オ}}$ である.

さらに, $\sin \angle ACD = \frac{\text{カ}}{\text{キ}}$, $\triangle ACD$ の外接円の半径は $\sqrt{\text{ク}} \sqrt{2}$ となる.

また, $CD = \sqrt{\text{ケ}} \sqrt{2} + \sqrt{\text{コ}} \sqrt{3}$ であり, 四角形 ABCD の面積は,

$\sqrt{\text{サ}} + \sqrt{\text{シ}} \sqrt{2} + \sqrt{\text{ス}} \sqrt{3}$ である.

4 [2003センター]

$\triangle ABC$ が $AB=2\sqrt{3}$, $AC=3$, $\cos C = \frac{\sqrt{6}}{3}$ を満たすとする.

このとき, $\sin B = \frac{\text{ア}}{\text{イ}}$, $\triangle ABC$ の外接円の半径は $\sqrt{\text{ウ}}$ となる.

$BC = \sqrt{\text{エ}} + \sqrt{\text{オ}}$ であり, $\triangle ABC$ の面積は, $\frac{\text{カ} \sqrt{2} + \text{キ} \sqrt{3}}{2}$ である.

5 [2003センター]

$0^\circ < \theta < 180^\circ$ とする. 180° の $\sin \theta$ 倍の角 $180^\circ \sin \theta$ のとりうる値の範囲は

$0^\circ < 180^\circ \sin \theta \leq$ アイウ $^\circ$ である.

次に, 二つの式

$$A = \cos(180^\circ \sin \theta) \sin(180^\circ \sin \theta), \quad B = \cos(180^\circ \sin \theta) + \sin(180^\circ \sin \theta)$$

を考える.

(1) $A > 0$ となるのは, θ について $0 < \sin \theta < \frac{\text{エ} \text{ }}{\text{オ} \text{ }}$ が成り立つときである.

したがって, $A > 0$ となるのは, $0^\circ < \theta < \text{カキ} \text{ }^\circ$ または $\text{クケコ} \text{ }^\circ < \theta < 180^\circ$ のときである.

(2) $B = \sqrt{2} \sin(180^\circ \sin \theta + \text{サシ} \text{ }^\circ)$ であるから, $B > \sqrt{\frac{3}{2}}$ となるのは,

$\frac{\text{ス} \text{ }}{\text{セツ} \text{ }} < \sin \theta < \frac{\text{タ} \text{ }}{\text{セツ} \text{ }}$ のときである.

(3) $|B| \leq 1$ となるのは, $\text{チツ} \text{ }^\circ \leq \theta \leq \text{テトナ} \text{ }^\circ$ のときである.

6 [2002センター]

半径 R の円に内接する四角形 $ABCD$ が

$$AB = \sqrt{3} - 1, \quad BC = \sqrt{3} + 1, \quad \cos \angle ABC = -\frac{1}{4}$$

を満たしており, $\triangle ACD$ の面積は $\triangle ABC$ の面積の 3 倍であるとする.

このとき, $AC =$ ア .

$$\sin \angle ABC = \frac{\sqrt{\text{イウ} \text{ }}}{4}, \quad R = \frac{\text{エ} \text{ } \sqrt{\text{オカ} \text{ }}}{\text{キ} \text{ }}$$

である. また, $\triangle ACD$ の面積は $\frac{\text{ク} \text{ } \sqrt{\text{ケコ} \text{ }}}{4}$ であるから,

$$AD \times CD = \text{サ} \text{ , \quad } AD^2 + CD^2 = \text{シス} \text{ となる.}$$

したがって, 四角形 $ABCD$ の周の長さは $\text{セ} \text{ } \sqrt{\text{ソ} \text{ }} + 2\sqrt{3}$ である.

7 [2002センター]

半径 R の円に内接する四角形 $ABCD$ が

$$AB = \sqrt{3} - 1, BC = \sqrt{3} + 1, \cos \angle ABC = -\frac{1}{4}$$

を満たしており, $\triangle ACD$ の面積は $\triangle ABC$ の面積の 3 倍であるとする.

このとき, $AC = \overset{\text{ア}}{\square}$, $R = \frac{\overset{\text{イ}}{\square} \sqrt{\overset{\text{ウエ}}{\square}}}{\overset{\text{オ}}{\square}}$ である.

また, $\triangle ACD$ と $\triangle ABC$ の面積についての条件から,

$$AD \times CD = \overset{\text{カ}}{\square}, AD^2 + CD^2 = \overset{\text{キク}}{\square} \text{ となる.}$$

したがって, 四角形 $ABCD$ の周の長さは $\overset{\text{ケ}}{\square} \sqrt{\overset{\text{コ}}{\square}} + 2\sqrt{3}$ である.

8 [2002センター]

a を正の定数とし, 角 θ の関数 $f(\theta) = \sin(a\theta) + \sqrt{3} \cos(a\theta)$ を考える.

(1) $f(\theta) = \overset{\text{ア}}{\square} \sin(a\theta + \overset{\text{イウ}}{\square}^\circ)$ である.

(2) $f(\theta) = 0$ を満たす正の角 θ のうち, 最小のものは $\frac{\overset{\text{エオカ}}{\square}^\circ}{a}$ であり, 小さい方

から数えて 4 番目と 5 番目のものは, それぞれ $\frac{\overset{\text{キクケ}}{\square}^\circ}{a}$, $\frac{\overset{\text{コサシ}}{\square}^\circ}{a}$ であ

る.

(3) $0^\circ \leq \theta \leq 180^\circ$ の範囲で, $f(\theta) = 0$ を満たす θ がちょうど 4 個存在するような a の範

囲は $\frac{\overset{\text{スセ}}{\square}}{\overset{\text{ソ}}{\square}} \leq a < \frac{\overset{\text{タチ}}{\square}}{\overset{\text{ツ}}{\square}}$ である.

9 [2002センター]

鋭角三角形 $\triangle ABC$ を底面とする四面体 $ABCD$ において、 $DA = \frac{3\sqrt{55}}{11}$ 、 $BC = \sqrt{3}$

であり、 $\triangle ABC$ の外接円の中心 O と点 D を通る直線は、底面に垂直で

$\tan \angle DAO = \sqrt{2}$ 、 $\cos \angle AOB = -\frac{5}{6}$ を満たしているとする。

このとき、 $\cos \angle DAO = \frac{\sqrt{\text{ア}}}{\text{イ}}$ となり、円 O の半径は $\frac{\sqrt{\text{ウエオ}}}{11}$ となる。

また、 $AB = \sqrt{\text{カ}}$ 、 $\sin \angle ACB = \frac{\sqrt{\text{キク}}}{\text{ケ}}$ で、 $CA = \text{コ}$ である。

したがって、 $\triangle ABC$ の面積は $\frac{\sqrt{\text{サシ}}}{2}$ である。

さらに、四面体 $ABCD$ の高さ DO は $\frac{\sqrt{\text{スセソ}}}{\text{タチ}}$ であるから、体積は

$\frac{\sqrt{\text{ツテ}}}{\text{ト}}$ となる。

10 [2002センター]

鋭角三角形 $\triangle ABC$ を底面とする四面体 $ABCD$ において、 $DA = \frac{3\sqrt{55}}{11}$ 、 $BC = \sqrt{3}$

であり、 $\triangle ABC$ の外接円の中心 O と点 D を通る直線は、底面に垂直で

$\tan \angle DAO = \sqrt{2}$ 、 $\cos \angle AOB = -\frac{5}{6}$ を満たしているとする。

このとき、 $\cos \angle DAO = \frac{\sqrt{\text{ア}}}{\text{イ}}$ となり、円 O の半径は $\frac{\sqrt{\text{ウエオ}}}{11}$ となる。

また、 $AB = \sqrt{\text{カ}}$ 、 $\sin \angle ACB = \frac{\sqrt{\text{キク}}}{\text{ケ}}$ で、 $CA = \text{コ}$ である。

さらに、四面体 $ABCD$ の体積は $\frac{\sqrt{\text{サシ}}}{\text{ス}}$ となる。

11 [2002センター]

a は $-2 \leq a \leq 2$ を満たす定数とする. 二つの角 x, y は $\cos x - \cos y = a$ …… ① を満たしながら $0^\circ \leq x \leq 180^\circ, 0^\circ \leq y \leq 180^\circ$ …… ② の範囲を動くものとする.

このとき $s = \sin x + \sin y$ …… ③ の最大値を求めよう.

① と ③ から $s^2 + a^2 = \sqrt{\quad} - \sqrt{\quad} \cos(x+y)$ を得る.

① と ② を満たす x, y で, $\cos(x+y) = -1$ となるものがあれば, s の最大値は

$\sqrt{\sqrt{\quad} - a^2}$ である.

このような x, y があることを示そう.

② の範囲で $\cos(x+y) = -1$ となるのは $x+y = \overset{\text{エオカ}}{\quad}^\circ$ のときである.

このとき $\cos x + \cos y = \overset{\text{キ}}{\quad}$ であり, ① と合わせて

$\cos x = \frac{\overset{\text{ク}}{\quad}}{\overset{\text{ケ}}{\quad}}, \cos y = \frac{\overset{\text{コサ}}{\quad}}{\overset{\text{シ}}{\quad}}$ となる.

これを満たす x, y は存在する.

12 [2001センター]

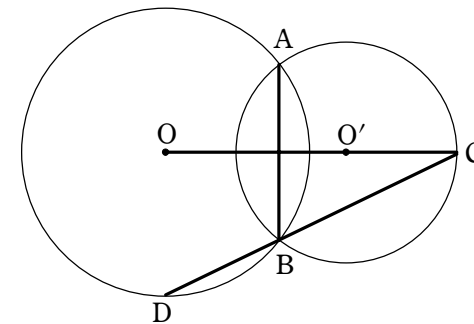
図のように交わる 2 円 O, O' がある. この図において A, B は 2 円の交点, C は直線 OO' と円 O' の交点, D は直線 CB と円 O の交点である. さらに

$\sin \angle ABC = \frac{2\sqrt{5}}{5}, AB=3, BD=\sqrt{5}$

とする. このとき

$\cos \angle ABC = \frac{\sqrt{\overset{\text{ア}}{\quad}}}{\overset{\text{イ}}{\quad}}, \cos \angle ABD = \frac{\overset{\text{ウ}}{\quad} \sqrt{\overset{\text{エ}}{\quad}}}{\overset{\text{オ}}{\quad}}$

$AD = \overset{\text{カ}}{\quad} \sqrt{\overset{\text{キ}}{\quad}}$



となり, 円 O の半径は $\frac{\overset{\text{ク}}{\quad}}{\overset{\text{ケ}}{\quad}}$ である. また $\triangle ABD$ の面積は $\overset{\text{コ}}{\quad}$ である.

一方,

$BC = \frac{\overset{\text{サ}}{\quad}}{\overset{\text{シ}}{\quad}} \sqrt{\overset{\text{ス}}{\quad}}$

となり, $\triangle ADC$ の面積は $\frac{\overset{\text{セソ}}{\quad}}{\overset{\text{タ}}{\quad}}$ である.

13 [2001センター]

(1) $0^\circ < \theta < 90^\circ$ とする.

$$\tan \theta + \frac{1}{\tan \theta} = \frac{\text{ア} \square}{\sin \text{イ} \square \theta}$$

$$\tan \theta - \frac{1}{\tan \theta} = \frac{\text{ウエ} \square \cos \text{オ} \square \theta}{\sin \text{カ} \square \theta}$$

であり, これらを用いて $\tan 15^\circ$ を求めると

$$\tan 15^\circ = \text{キ} \square - \sqrt{\text{ク} \square}$$

である.

(2) θ が $15^\circ \leq \theta \leq 60^\circ$ の範囲を動くとき, $\tan \theta + \frac{1}{\tan \theta}$ は

$$\theta = \text{ケコ} \square^\circ \text{ のとき最小値 } \text{サ} \square$$

$$\theta = \text{シス} \square^\circ \text{ のとき最大値 } \text{セ} \square$$

をとる.

14 [2001センター]

関数 $y = 3\sin \theta - 2\sin^3 \theta$ ($0^\circ \leq \theta \leq 210^\circ$) の最大値と最小値を求めたい.

そのため $\sin \theta = x$ とおくと, y は $y = 3x - 2x^3$ と表される. x の動く範囲は

$$\frac{\text{アイ} \square}{\text{ウ} \square} \leq x \leq \text{エ} \square \text{ であるから, } y \text{ は } x = \frac{1}{\sqrt{\text{オ} \square}} \text{ のとき最大値 } \sqrt{\text{カ} \square}$$

$$\text{をとり, } x = \frac{\text{キク} \square}{\text{ケ} \square} \text{ のとき最小値 } \frac{\text{コサ} \square}{\text{シ} \square} \text{ をとる.}$$

θ の関数としては, y は

$$\theta = \text{スセ} \square^\circ \text{ および } \theta = \text{ソタチ} \square^\circ \text{ のとき最大}$$

$$\theta = \text{ツテト} \square^\circ \text{ のとき最小}$$

である.

15 [2001センター]

半径 R の円 O に内接する四角形 $ABCD$ は

$$AB=AD=\sqrt{3}, \cos \angle BAD = -\frac{1}{3}, \cos \angle ABC = \frac{\sqrt{3}}{3}$$

を満たす. このとき

$$BD = \overset{\text{ア}}{\square} \sqrt{\overset{\text{イ}}{\square}}, R = \frac{\overset{\text{ウ}}{\square}}{\overset{\text{エ}}{\square}}$$

$$\sin \angle ABC = \frac{\sqrt{\overset{\text{オ}}{\square}}}{\overset{\text{カ}}{\square}}, AC = \sqrt{\overset{\text{キ}}{\square}}$$

$$BC = \overset{\text{ク}}{\square}, CD = \overset{\text{ケ}}{\square}$$

となる. さらに $\triangle ABC$ の面積は

$$\frac{\overset{\text{コ}}{\square} \sqrt{\overset{\text{サ}}{\square}}}{2}$$

である.

16 [2001センター]

半径 R の円 O に内接する四角形 $ABCD$ は

$$AB=AD=\sqrt{3}, \cos \angle BAD = -\frac{1}{3}, \cos \angle ABC = \frac{\sqrt{3}}{3}$$

を満たす. このとき

$$BD = \overset{\text{ア}}{\square} \sqrt{\overset{\text{イ}}{\square}}, R = \frac{\overset{\text{ウ}}{\square}}{\overset{\text{エ}}{\square}}$$

$$\sin \angle ABC = \frac{\sqrt{\overset{\text{オ}}{\square}}}{\overset{\text{カ}}{\square}}, AC = \sqrt{\overset{\text{キ}}{\square}}$$

$$CD = \overset{\text{ク}}{\square}$$

である.

17 [2001センター]

$4(1 + \cos \theta)^3$ を $\cos \theta$, $\cos 2\theta$, $\cos 3\theta$ の一次式として表そう.

$$\cos^2 \theta = \frac{1}{\text{ア}} (1 + \cos 2\theta)$$

また

$$\begin{aligned} \cos 3\theta &= \cos 2\theta \cos \theta - \sin 2\theta \sin \theta \\ &= \text{イ} \cos^3 \theta - \text{ウ} \cos \theta \end{aligned}$$

より

$$\cos^3 \theta = \frac{\text{エ}}{\text{オ}} \cos \theta + \frac{\text{カ}}{\text{キ}} \cos 3\theta$$

である.

これらのことから $4(1 + \cos \theta)^3$ は、次のように

$$\text{ク} \cos^3 \theta + \text{コサ} \cos \theta + \text{シ} \cos 2\theta + \cos 3\theta$$

と表される.

18 [2000センター]

四角形 ABCD は、円 O に内接し、

$$AB = 3, BC = CD = \sqrt{3}, \cos \angle ABC = \frac{\sqrt{3}}{6}$$

とする. このとき、

$$AC = \text{ア} \sqrt{\text{ウエ}}, AD = \text{イ} \sqrt{\text{ケ}}, \sin \angle ABC = \frac{\text{オ}}{\text{カ}}$$

であり、円 O の半径は $\frac{\text{カ} \sqrt{\text{キク}}}{11}$ である.

また、 $\triangle ABC$ の面積を S_1 , $\triangle ACD$ の面積を S_2 とすると、

$$S_1 = \frac{\text{ケ}}{\text{コ}} \sqrt{11}, S_2 = \frac{\sqrt{11}}{\text{サ}}$$

である.

19 [2000センター]

四角形 ABCD は、円 O に内接し、

$$AB=3, BC=CD=\sqrt{3}, \cos \angle ABC = \frac{\sqrt{3}}{6}$$

とする。このとき、

$$AC = \text{ア} \square, AD = \text{イ} \square$$

であり、円 O の半径は $\frac{\text{ウ} \square \sqrt{\text{エオ} \square}}{11}$ である。

また、△ABD の面積を S_1 、△BCD の面積を S_2 とすると、

$$\frac{S_2}{S_1} = \frac{\text{カ} \square}{\text{キ} \square}$$

である。

20 [2000センター]

座標平面上の直線 $y=3x$ を l とする。原点 O と異なる l 上の点 A を第 1 象限にとり、 x 軸に関して A と対称な点を B、 l に関して B と対称な点を C とする。

(1) 直線 AB と x 軸との交点を D、 $\angle AOD = \theta$ とすると

$$\tan \theta = \text{ア} \square, \cos \theta = \frac{1}{\sqrt{\text{イウ} \square}}$$

である。また、 $\angle CAB = \alpha$ とおくと

$$\alpha = \text{エオカ} \square^\circ - \text{キ} \square \theta$$

であり、 $\cos \alpha = \frac{\text{ク} \square}{\text{ケ} \square}$ となる。

(2) △OAB の面積を S_1 、△OBC の面積を S_2 とする。 $\angle BOC = \text{コ} \square \alpha$ であり、

$$\frac{S_1}{S_2} = \frac{\sin 2\theta}{\sin(\text{コ} \square \alpha)} = \frac{\text{サ} \square}{\text{シ} \square}$$

である。

21 [2000センター]

四角形 ABCD は、円 O に内接し、

$$2AB=BC, CD=2, DA=1, \cos \angle ABC = \frac{5}{8}$$

を満たしている。このとき、

$$\cos \angle ADC = \frac{\text{アイ}}{\text{ウ}}, AC = \frac{\sqrt{\text{エオ}}}{\text{カ}}, \sin \angle ADC = \frac{\sqrt{\text{キク}}}{\text{ケ}}$$

である。また、円 O の半径は $\frac{2}{13}\sqrt{\text{コサシ}}$ で、 $AB = \sqrt{\text{ス}}$ である。さらに

$$BD = \frac{4}{5}\sqrt{\text{セソ}}, \cos \angle BCD = \frac{2}{5}\sqrt{\text{タ}}$$

である。

22 [2000センター]

四角形 ABCD は、円 O に内接し、

$$2AB=BC, CD=2, DA=1, \cos \angle ABC = \frac{5}{8}$$

を満たしている。このとき、 $AC = \frac{\sqrt{\text{アイ}}}{\text{ウ}}$ である。また、円 O の半径は

$\frac{2}{13}\sqrt{\text{エオカ}}$ で、 $AB = \sqrt{\text{キ}}$ である。さらに

$$BD = \frac{4}{5}\sqrt{\text{クケ}}, \cos \angle BCD = \frac{2}{5}\sqrt{\text{コ}}$$

である。

23 [2000センター]

a を実数とし、関数

$$F(x) = a \sin(x - 60^\circ) + a \sin(x + 60^\circ) - 2 \sin^2 x$$

を考える。ただし、 $0^\circ \leq x \leq 180^\circ$ とする。

(1) $F(x) = (\text{ア} \square - \text{イ} \square \sin x) \sin x$ と表される。

(2) $0^\circ \leq x \leq 180^\circ$ で常に $F(x) \geq 0$ が成り立つような a の最小値は $\text{ウ} \square$ である。

(3) $0 < a \leq \text{エ} \square$ の場合を考える。

$F(x)$ は $\sin x = \frac{\text{オ} \square}{\text{カ} \square} a$ のとき最大値 $m = \frac{\text{キ} \square}{\text{ク} \square} a$ $\text{ケ} \square$ をとる。また、 $F(x)$

の最小値は $\text{コ} \square - \text{ク} \square$ である。

実数 b を $0 < b < m$ を満たすようにとるとき、 x に関する方程式 $F(x) = b$ の解は

$\text{サ} \square$ 個ある。

24 [2000センター]

原点を O とし、2直線

$$y = \frac{12}{5}x \quad \dots\dots \text{①}$$

$$y = -\frac{3}{4}(x-1) \quad \dots\dots \text{②}$$

の交点を A 、 x 軸と直線 ② の交点を B とする。 $\angle AOB$ の二等分線 l の方程式を求めよ

う。 l と x 軸のなす角を θ とすると、 $\tan 2\theta = \frac{\text{アイ} \square}{\text{ウ} \square}$ である。

2倍角の公式から $t = \tan \theta$ は、方程式

$$\text{エ} \square t^2 + \text{オ} \square t - \text{カ} \square = 0$$

を満たすことがわかる。これより、 l の方程式は $y = \frac{\text{キ} \square}{\text{ク} \square} x$ である。

線分 OB の B の側への延長上に点 C とする。

l の場合と同様にして、 $\angle ABC$ の二等分線 m の方程式は

$$y = \text{ケ} \square x - \text{コ} \square$$

である。したがって、 l と m の交点の座標は $\left(\frac{\text{サ} \square}{\text{シ} \square}, \frac{\text{ス} \square}{\text{セ} \square} \right)$ である。

25 [1999センター]

円 O に内接する四角形 $ABCD$ は $AB=BC=2\sqrt{2}$, $BD=2\sqrt{3}$, $\angle ABC=120^\circ$ を満た

すとする. ただし, $AD > CD$ とする. このとき $AC = \sqrt{\square} \sqrt{\square}$,

$\angle BDC = \square^\circ$ であり, 円 O の半径は $\square \sqrt{\square}$ となる.

また $\sin \angle BAD = \frac{\sqrt{\square}}{\square}$ である.

さらに $AD = \square + \sqrt{\square}$, $CD = \square - \sqrt{\square}$ であり, 四角形

$ABCD$ の面積は $\square \sqrt{\square}$ である.

26 [1999センター]

円に内接する四角形 $ABCD$ は $AB=BC=2\sqrt{2}$, $BD=2\sqrt{3}$, $\angle ABC=120^\circ$ を満たす

とする. ただし, $AD > CD$ とする. このとき $AC = \sqrt{\square} \sqrt{\square}$,

$\angle BDC = \square^\circ$ である.

また $AD = \square + \sqrt{\square}$, $CD = \square - \sqrt{\square}$ であり,

四角形 $ABCD$ の面積は $\square \sqrt{\square}$ である.

27 [1999センター]

$\triangle ABC$ の辺 AB , AC 上にそれぞれ点 D , E を $AD : DB = t : 1$, $AE : EC = 1 : (t+1)$ となるようにとる.

さらに BE と CD の交点と A を結ぶ直線が BC と交わる点を F とおく.

次の文中の $\overset{\text{エオ}}{\square} \sim \overset{\text{シス}}{\square}$ については、当てはまる文字を $A \sim F$ のうちから選べ. ただし, エとオ, カとキ, クとケ, コとサ, シとスは, それぞれ解答の順序を問わない.

(1) DE が BC に平行になるとき $t = \frac{\overset{\text{アイ}}{\square} + \sqrt{\overset{\text{ウ}}{\square}}}{2}$ である.

(2) $\triangle ABF$ と $\triangle AFC$ の面積をそれぞれ S_1 , S_2 とするとき

$$S_1 : S_2 = \overset{\text{エオ}}{\square} : \overset{\text{カキ}}{\square} = \overset{\text{クケ}}{\square} \sin \angle BAF : \overset{\text{コサ}}{\square} \sin \angle FAC \text{ である.}$$

また, AF が $\triangle ABC$ の内心を通るならば $BF : FC = \overset{\text{シス}}{\square} : AC$ であり, さらに

$$AC = 12AB \text{ のとき } t = \overset{\text{セ}}{\square} \text{ である.}$$

28 [1999センター]

関数 $y = 2\cos 3x$ の周期のうち正で最小のものは $\overset{\text{アイウ}}{\square}^\circ$ である. $0^\circ \leq x \leq 360^\circ$ のと

き, 関数 $y = 2\cos 3x$ において, $y = 2$ となる x は $\overset{\text{エ}}{\square}$ 個, $y = -2$ となる x は

$\overset{\text{オ}}{\square}$ 個ある.

また, $y = \sin x$ と $y = 2\cos 3x$ のグラフより, 方程式 $\sin x = 2\cos 3x$ は $0^\circ \leq x \leq 360^\circ$ の

とき $\overset{\text{カ}}{\square}$ 個の解をもつことがわかる.

29 [1999センター]

円 O に内接する四角形 ABCD は $AB=2$, $BC=3$, $CD=1$, $\angle ABC=60^\circ$ を満たすとする. このとき $\angle CDA = \overset{\text{アイウ}}{\square}^\circ$, $AC = \sqrt{\overset{\text{エ}}{\square}}$, $AD = \overset{\text{オ}}{\square}$ である.

また, 円 O の半径は $\frac{\sqrt{\overset{\text{カキ}}{\square}}}{3}$ であり $\sin \angle BAC = \frac{\overset{\text{ク}}{\square} \sqrt{\overset{\text{ケコ}}{\square}}}{14}$ である.

さらに $BD = \frac{\overset{\text{サ}}{\square} \sqrt{\overset{\text{シ}}{\square}}}{\overset{\text{ス}}{\square}}$, $\sin \angle BCD = \frac{\overset{\text{セ}}{\square} \sqrt{\overset{\text{ソ}}{\square}}}{\overset{\text{タ}}{\square}}$ であり,

三角形 BCD の面積は $\frac{\overset{\text{チ}}{\square} \sqrt{\overset{\text{ツ}}{\square}}}{\overset{\text{テ}}{\square}}$ である.

30 [1999センター]

円に内接する四角形 ABCD は $AB=2$, $BC=3$, $CD=1$, $\angle ABC=60^\circ$ を満たすとする. このとき $\angle CDA = \overset{\text{アイウ}}{\square}^\circ$, $AC = \sqrt{\overset{\text{エ}}{\square}}$, $AD = \overset{\text{オ}}{\square}$ である.

また $\sin \angle BAC = \frac{\overset{\text{カ}}{\square} \sqrt{\overset{\text{キク}}{\square}}}{14}$ であり $BD = \frac{\overset{\text{ケ}}{\square} \sqrt{\overset{\text{コ}}{\square}}}{\overset{\text{サ}}{\square}}$ である.

31 [1999センター]

$0^\circ \leq \theta < 360^\circ$ のとき、 $y = \sin^3 \theta - \cos^3 \theta$ の最大値を求めよう。 $x = \sin \theta - \cos \theta$ とお

くと、 x のとる値の範囲は $-\sqrt{\text{ア}} \leq x \leq \sqrt{\text{イ}}$ である。等式

$$x^2 = \text{ウ} - \text{エ} \sin \theta \cos \theta, \quad x^3 = \sin^3 \theta - 3\sin^2 \theta \cos \theta + 3\sin \theta \cos^2 \theta - \cos^3 \theta$$

を用いると $y = -\frac{\text{オ}}{\text{カ}} x^{\text{キ}} + \frac{\text{ク}}{\text{ケ}} x$ となる。したがって、 y は $x = \text{コ}$

のとき最大値 サ をとる。

このときの θ の値は シス または センタ である。

32 [1998センター]

四角形 ABCD は円に内接し、 $\angle ABC$ は鈍角で、 $AB=2, BC=\sqrt{6}, \sin \angle ABC = \frac{1}{\sqrt{3}}$ とする。また、線分 AC と BD は直角に交わるとする。

このとき $\cos \angle ABC = \frac{\text{ア}}{\text{ウ}} \sqrt{\frac{\text{イ}}{\text{エ}}}$, $AC = \text{エ} \sqrt{\frac{\text{オ}}{\text{カ}}}$ となる。円の半

径は $\frac{\text{カ}}{\text{ケ}} \sqrt{\frac{\text{キ}}{\text{ク}}}$ であり $\sin \angle CAB = \frac{\text{ク}}{\text{コ}}$, $\sin \angle ACB = \frac{\sqrt{\text{サ}}}{\text{シ}}$

となる。また、三角形 ABC の面積は $\sqrt{\text{ス}}$ である。さらに、AC と BD の交点

を H とおくと $CH = \frac{\text{セ}}{\text{タ}} \sqrt{\frac{\text{ソ}}{\text{ス}}}$, $BD = \frac{\text{チツ}}{\text{テ}}$ であり、四角形 ABCD の

面積は $\frac{\text{トナ}}{\text{ニ}} \sqrt{\text{ニ}}$ である。

33 [1998センター]

四角形 ABCD は円に内接し、 $\angle ABC$ は鈍角で $AB=2, BC=\sqrt{6}, \sin \angle ABC = \frac{1}{\sqrt{3}}$

とする。また、線分 AC と BD は直角に交わるとする。

このとき $\cos \angle ABC = \frac{\sqrt{\text{ア}}}{\text{ウ}}$, $AC = \sqrt{\text{エ}} \sqrt{\text{オ}}$ となる。円の半

径は $\frac{\sqrt{\text{カ}}}{\text{ク}}$ であり $\sin \angle CAB = \frac{\text{ケ}}{\text{コ}}$, $\sin \angle ACB = \frac{\sqrt{\text{サ}}}{\text{シ}}$

となる。また、AC と BD の交点を H とおくと、 $DH = \frac{\text{スセ}}{\text{セ}} BH$ である。

34 [1998センター]

$0^\circ \leq \theta \leq 90^\circ$ の範囲で、関数 $f(\theta) = \sqrt{6} \cos \theta + \sqrt{2} \sin \theta, g(\theta) = \sqrt{2} \cos \theta - \sqrt{6} \sin \theta$ を考える。

(1) $f(60^\circ) = \sqrt{\text{ア}}$ である。

(2) $\theta = \text{イウ}^\circ$ のとき、 $f(\theta)$ は最小値 $\sqrt{\text{エ}}$ をとる。

(3) $g(\theta) = \text{オ} \sqrt{\text{カ}} \cos(\theta + \text{キク}^\circ)$ と表せる。とくに、

$g(\theta) = -\frac{8\sqrt{2}}{5}$ ならば、 $f(\theta) = \frac{\text{ケ}}{\text{サ}} \sqrt{\text{コ}}$,

$\sin \theta = \frac{\text{シ}}{10} + \frac{\text{ス}}{10} \sqrt{\text{セ}}$ となる。

35 [1998センター]

四角形 ABCD は円 O に内接していて AB=3, BC=7, CD=7, DA=5 とする.

(1) $\angle A = \overset{\text{アイウ}}{\square}^\circ$ であり, $BD = \overset{\text{エ}}{\square}$, $AC = \overset{\text{オ}}{\square}$ である. また, 四角形

ABCD の面積は $\overset{\text{カキ}}{\square} \sqrt{\overset{\text{ク}}{\square}}$ である.

(2) 円 O の半径は $\frac{\overset{\text{ケ}}{\square} \sqrt{\overset{\text{コ}}{\square}}}{\overset{\text{サ}}{\square}}$ である.

(3) 三角形 ABD の内接円の半径は $\frac{\sqrt{\overset{\text{シ}}{\square}}}{\overset{\text{ス}}{\square}}$ である.

(4) 対角線 AC, BD の交点を E とするとき $\sin \angle AEB = \frac{\overset{\text{セ}}{\square} \sqrt{\overset{\text{ソ}}{\square}}}{\overset{\text{タ}}{\square}}$ である.

36 [1998センター]

四角形 ABCD は円に内接していて AB=3, BC=7, CD=7, DA=5 とする.

(1) $\angle A = \overset{\text{アイウ}}{\square}^\circ$ であり, $BD = \overset{\text{エ}}{\square}$, $AC = \overset{\text{オ}}{\square}$ である. また, 四角形

ABCD の面積は $\overset{\text{カキ}}{\square} \sqrt{\overset{\text{ク}}{\square}}$ である.

(2) 対角線 AC, BD の交点を E とするとき $\sin \angle AEB = \frac{\overset{\text{ケ}}{\square} \sqrt{\overset{\text{コ}}{\square}}}{\overset{\text{サ}}{\square}}$ である.

37 [1998センター]

2点 A (1, 0), B (-1, 0) を直径の両端とする円周の上半分の弧上に2点 P, Q をとる.
 原点を O とし, $\angle AOP = \theta$, $\angle AOP + \angle QOB = 60^\circ$ とする.

(1) 四角形 APQB の面積は $\frac{\text{ア}}{\text{イ}} \sin \theta + \frac{\sqrt{\text{ウ}}}{\text{エ}} \cos \theta + \frac{\sqrt{\text{オ}}}{\text{カ}}$ である.

(2) 直線 AQ と直線 BP の交点を R とする. $AP = \frac{\text{キ}}{\text{ク}} \sin \frac{\theta}{\text{ク}}$,

$\angle PAR = \frac{\text{ケコ}}{\text{ク}}^\circ$ であり, 三角形 APR の面積は $\sqrt{\frac{\text{サ}}{\text{ク}}} (\frac{\text{シ}}{\text{ク}} - \cos \theta)$ である.

38 [1997センター]

台形 ABCD において, AB と DC が平行であり, 二つの対角線 AC, BD の交点を E とする. $AB=5, DC=3, AE=2, \sin \angle BAE = \frac{5}{13}$ とする.

このとき, $AC = \frac{\text{アイ}}{\text{ウ}}$ であり, 台形 ABCD の面積は $\frac{\text{エオ}}{\text{カキ}}$ である.

また, $\cos \angle BAE = \pm \frac{\text{クケ}}{\text{コサ}}$ である.

特に, $\angle BAE$ が鋭角のとき, $BE = \sqrt{\frac{\text{シスセ}}{\text{ソタ}}}$ であり, 三角形 ABE の外接円の

半径は $\frac{\sqrt{\text{チツテト}}}{\text{ナニ}}$ である.

39 [1997センター]

三角形 ABC において、 $\angle B$ が鈍角であり、 $AB=8$, $BC=6$, $\sin B = \frac{5\sqrt{7}}{16}$ であると

する。このとき、 $\cos B = \frac{\text{アイ}}{\text{ウエ}}$, $AC = \sqrt{\text{オカキ}}$ であり、外接円の半径は

$\frac{\text{ク}}{\text{サ}} \sqrt{\text{ケコ}}$ である。

40 [1997センター]

$\triangle ABC$ の外心を O 、直線 BO と外接円の交点を D とする。また、垂心を H 、直線 AH と直線 BC の交点を E とする。

- (1) 次の文中の アイ□ ~ オカ□ に当てはまるものを、記号 $A \sim E$ のうちから選べ
(アイ□ のアとイ, ウエ□ のウとエは、解答の順序を問わない)。

$AH \parallel \text{アイ} \square$, $CH \parallel \text{ウエ} \square$ であるから、四角形 $AH \text{オカ} \square$ は平行四辺形である。

- (2) $\triangle ABC$ において、 $\angle A = 75^\circ$, $\angle B = 45^\circ$, 外接円の半径が 2 であるとする。

直線 AH と外接円の交点を F とする。

このとき、 $AH = \text{キ} \square \cos \text{クケ} \square^\circ$, $CH = \text{コ} \square$, $\angle CBF = \text{カシ} \square^\circ$,

$\angle CHE = \text{スセ} \square^\circ$, $BE = \sqrt{\text{ソ} \square}$, $EF = \sqrt{\text{タ} \square}$ である。

41 [1997センター]

$0^\circ \leq \theta < 360^\circ$ のとき, $y = 2\sin\theta \cos\theta - 2\sin\theta - 2\cos\theta - 3$ とする.

$x = \sin\theta + \cos\theta$ とおくと, y は x の関数 $y = x^{\text{ア}} - \text{イ}x - \text{ウ}$ となる.

$x = \sqrt{\text{エ}} \sin(\theta + \text{オカ}^\circ)$ であるから, x の値の範囲は
 $-\sqrt{\text{キ}} \leq x \leq \sqrt{\text{ク}}$ である.

したがって, y は $\theta = \text{ケコサ}^\circ$ のとき最大値 シ $(\sqrt{\text{ス}} - \text{セ})$ をと
 る. また, y の最小値は ソタ である.

42 [1997センター]

三角形 ABC において, $AC=7$, $BC=9$, $AB < AC$, $\cos B = \frac{2}{3}$ とする.

このとき, $\sin B = \frac{\sqrt{\text{ア}}}{\text{イ}}$, $AB = \text{ウ}$ となる.

三角形 ABC の外接円の半径は $\frac{\text{エオ} \sqrt{\text{カ}}}{\text{キク}}$ であり,

$\sin A = \frac{\text{ケ} \sqrt{\text{コ}}}{\text{サ}}$, $\cos A = \frac{\text{シス}}{\text{セ}}$ である.

また, 三角形 ABC の面積は $\text{ソ} \sqrt{\text{タ}}$ である.

次に, 外接円の周上に点 D を弦 BC に関して点 A の反対側にとる.

BD = CD であるとき, $BD = \frac{\text{チ} \sqrt{\text{ツテ}}}{\text{トナ}}$ である.

43 [1997センター]

三角形 ABC において, $AC=7$, $BC=9$, $AB < AC$, $\cos B = \frac{2}{3}$ とする.

このとき, $\sin B = \frac{\sqrt{\text{ア}}}{\text{イ}}$, $AB = \sqrt{\text{ウ}}$ となる.

三角形 ABC の外接円の半径は $\frac{\text{エオ}}{\text{キク}} \sqrt{\text{カ}}$ である.

また, 三角形 ABC の面積は $\frac{\text{ケ}}{\text{コ}} \sqrt{\text{ク}}$ である.

44 [1997センター]

実数 x, y が $11x^2 + 12xy + 6y^2 = 4$ を満たすとき, $x^2 + y^2$ の最大値と最小値を次のように求めよう.

xy 平面上の原点 O と他の点 $P(x, y)$ を結ぶ線分 OP の長さを r , x 軸と動径 OP のなす角を θ とすると,

$$\frac{1}{r^2}(11x^2 + 12xy + 6y^2) = \frac{\text{ア}}{\text{イウ}} \cos^2 \theta + \frac{\text{エ}}{\text{オカ}} \sin \theta \cos \theta + \frac{\text{ク}}{\text{ケコ}} \sin^2 \theta$$

$$= \frac{\text{サシ}}{\text{スセ}} \cos 2\theta + \frac{\text{タチツテト}}{\text{ニネ}} \sin 2\theta + \frac{\text{ハニホヘフブ}}{\text{ヘフ}} \sin(2\theta + \alpha) + \frac{\text{セ}}{\text{ソタ}} \cos \alpha$$

$$= \frac{\text{チツ}}{\text{テト}} \sin(2\theta + \alpha) + \frac{\text{ニ}}{\text{ネ}} \cos \alpha$$

である. ただし, $\sin \alpha = \frac{\text{セ}}{\text{ソタ}}$, $\cos \alpha = \frac{\text{タチツテト}}{\text{ニネ}}$ である.

したがって, $x^2 + y^2$ の最大値は $\frac{\text{ハニホヘフブ}}{\text{ヘフ}}$, 最小値は $\frac{\text{セ}}{\text{ソタ}}$ である.

45 [2006センター]

三角形 ABC の外接円の半径が 1 であり、 $AB = \frac{1}{2}$ 、 $AC = \frac{\sqrt{6}}{2}$ 、 $\angle ABC > 90^\circ$ とする。

このとき、 $\sin \angle ABC = \frac{\sqrt{\text{ア}} \text{イ}}{\text{エ}}$ 、 $\cos \angle ABC = -\frac{\sqrt{\text{ウエ}} \text{オ}}{\text{カ}}$ となる。

ここで $BC = x$ とすると、 x は 2 次方程式

$$4x^2 + \sqrt{\text{カキ}} x - \text{ク} = 0$$

を満たす。 $x > 0$ であるから、 $BC = \frac{\sqrt{\text{ケコ}} \text{サ}}{\text{シ}}$ となる。

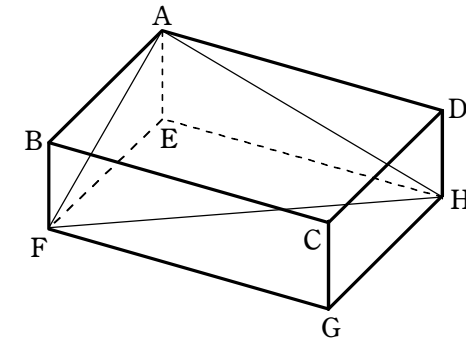
46 [2006センター]

下の図のような直方体 ABCD - EFGH において、 $AE = \sqrt{10}$ 、 $AF = 8$ 、 $AH = 10$ とする。

このとき、 $FH = \text{アイ}$ であり、 $\cos \angle FAH = \frac{\text{ウ}}{\text{エ}}$ である。また、三角形

AFH の面積は $\text{オカ} \sqrt{\text{キ}}$ である。したがって、点 E から三角形 AFH に

下ろした垂線の長さは $\frac{\text{ク} \sqrt{\text{ケコ}}}{\text{サ}}$ である。

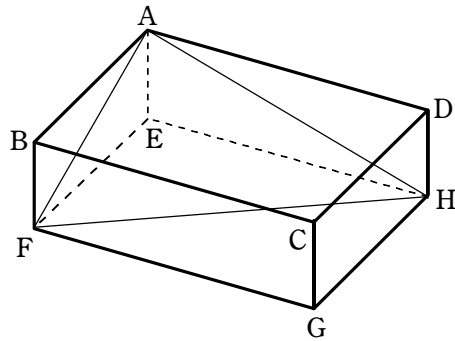


47 [2006センター]

下の図のような直方体 ABCD - EFGH において、 $AE = \sqrt{10}$ 、 $AF = 8$ 、 $AH = 10$ とする。

このとき、 $FH = \sqrt{\text{イ}} \text{エ}$ であり、 $\cos \angle FAH = \frac{\text{ウ}}{\text{エ}}$ である。

また、三角形 AFH の面積は $\text{オカ} \sqrt{\text{キ}}$ である。



次に、 $\angle AFH$ の二等分線と辺 AH の交点を P、 $\angle FAH$ の二等分線と辺 FH の交点を Q、線分 FP と線分 AQ の交点を R とする。このとき、R は三角形 AFH の ク

である。次の ① ~ ③ のうちから ク に当てはまるものを一つ選べ。

- ① 重心
- ② 外心
- ③ 内心

また、 $AP = \text{ケ}$ であり、したがって、 $PF : PR = \text{コ}$: 1 となる。さらに、

四面体 EAPR の体積は $\text{サ} \sqrt{\text{シ}}$ である。

補足説明 三角形において、その外接円の中心を外心、その内接円の中心を内心という。

48 [2006センター]

$0^\circ \leq \theta < 180^\circ$ の範囲で関数 $f(\theta) = 3\cos 2\theta + 4\sin \theta$ を考える。

$\sin \theta = t$ とおけば $\cos 2\theta = \text{ア}$ イ $t^{\text{ウ}}$ であるから、 $y = f(\theta)$ とおくと

$$y = -\text{エ} t^{\text{ウ}} + \text{オ} t + \text{カ}$$

である。したがって、 y の最大値は $\frac{\text{キク}}{3}$ であり、最小値は ケ である。

また、 α が $0^\circ < \alpha < 90^\circ$ を満たす角度で $f(\alpha) = 3$ のとき

$$\sin(\alpha + 30^\circ) = \frac{\text{コ} \sqrt{\text{サ}} + \sqrt{\text{シ}}}{\text{ス}}$$

である。

49 [2006センター]

$0^\circ \leq \theta < 180^\circ$ の範囲で関数 $f(\theta) = 3\cos 2\theta + 4\sin \theta$ を考える。

$\sin \theta = t$ とおけば $\cos 2\theta = \text{ア}$ $- \text{イ}$ $t^{\text{ウ}}$ であるから、 $y = f(\theta)$ とおくと

$$y = -\text{エ}$$
 $t^{\text{ウ}}$ $+ \text{オ}$ $t + \text{カ}$

である。したがって、 y の最大値は $\frac{\text{キク}}$ 3 であり、最小値は ケ である。

また、 α が $0^\circ < \alpha < 90^\circ$ を満たす角度で $f(\alpha) = 3$ のとき

$$\sin(\alpha + 30^\circ) = \frac{\text{コ}$$
 $\sqrt{\text{サ}}$ $+ \sqrt{\text{シ}}$ ス

である。

50 [2005センター]

線分 AB を直径とする半円周上に 2 点 C, D があり、 $AC = 2\sqrt{5}$, $AD = 8$,

$\tan \angle CAD = \frac{1}{2}$ であるとする。さらに、線分 AD と線分 BC の交点を E とする。この

とき、 $\cos \angle CAD = \frac{\text{ア}$ $\sqrt{\text{イ}}$ ウ , $CD = \text{エ}$ $\sqrt{\text{オ}}$ である。

また、 $\triangle ADC$ の面積は カ であり、 $AB = \text{キク}$, $BD = \text{ケ}$,

$DE = \text{コ}$ である。

51 [2005センター]

線分 AB を直径とする半円周上に 2 点 C, D があり, $AC=2\sqrt{5}$, $AD=8$,

$\tan \angle CAD = \frac{1}{2}$ であるとする。

このとき, $\cos \angle CAD = \frac{\text{ア} \sqrt{\text{イ}}}{\text{ウ}}$, $CD = \text{エ} \sqrt{\text{オ}}$ である。

さらに, $\triangle ADC$ の面積は カ , $AB = \text{キ}$ である。

52 [2005センター]

座標平面上の 3 点 $A(-1, 0)$, $B(\cos \theta, \sin \theta)$, $C(\cos 2\theta, \sin 2\theta)$ について, θ が $0^\circ \leq \theta \leq 180^\circ$ の範囲を動くとき, $d = AC + BC$ の最大値と最小値を求めよう。

(1) $AC^2 = \text{ア} + 2\cos 2\theta = \text{イ} \cos^2 \theta$

$BC^2 = \text{ウ} - 2\cos \theta = \text{エ} \sin^2 \frac{\theta}{2}$

であるから, $d = \text{オ} |\cos \theta| + \text{カ} \sin \frac{\theta}{2}$ である。

(2) $t = \sin \frac{\theta}{2}$ とおく。 $0^\circ \leq \theta \leq 90^\circ$ のとき $0 \leq t \leq \frac{\sqrt{\text{キ}}}{\text{ク}}$ であり,

$d = -\text{ケ} t^2 + \text{コ} t + 2$ である。 $90^\circ \leq \theta \leq 180^\circ$ のとき

$\frac{\sqrt{\text{キ}}}{\text{ク}} \leq t \leq 1$ であり, $d = \text{ケ} t^2 + \text{コ} t - 2$ である。

したがって, d は $t = \frac{\sqrt{\text{サ}}}{\text{シ}}$ のとき最小値 $\sqrt{\text{ス}}$ をとり, このときの

θ の値は セ $^\circ$ である。また, d は $t = \text{タ}$ のとき最大値 チ をとり,

このときの θ の値は ツ $^\circ$ である。

53 [2005センター]

△ABCにおいて、 $AB=6$, $AC=6\sqrt{3}$, $\cos A = -\frac{\sqrt{3}}{3}$ であるとする。

このとき、 $BC = \sqrt{\text{ア}} \sqrt{\text{イ}}$, $\sin B = \frac{\sqrt{\text{ウ}}}{\text{エ}}$ である。

さらに、点 D は辺 BC 上にあり、 $\cos \angle BAD = \frac{2\sqrt{2}}{3}$ であるとする。

このとき、 $AB = \frac{2\sqrt{2}}{3}AD + \frac{\sqrt{\text{オ}}}{\text{カ}}BD$ であり、また、正弦定理により

$AD = \sqrt{\text{キ}} BD$ となる。

したがって、 $BD = \sqrt{\text{ク}}$ であり、△ABD の外接円の半径は

$\frac{\text{ケ}}{\text{サ}} \sqrt{\text{コ}}$ となる。また、△ACD の面積は $\frac{\text{シ}}{\text{セ}} \sqrt{\text{ソ}}$ である。

54 [2005センター]

△ABCにおいて、 $AB=6$, $AC=6\sqrt{3}$, $\cos A = -\frac{\sqrt{3}}{3}$ であるとする。

このとき、 $BC = \sqrt{\text{ア}} \sqrt{\text{イ}}$, $\sin B = \frac{\sqrt{\text{ウ}}}{\text{エ}}$ である。

さらに、点 D は辺 BC 上にあり、 $\cos \angle BAD = \frac{2\sqrt{2}}{3}$ であるとする。

このとき、 $AB = \frac{2\sqrt{2}}{3}AD + \frac{\sqrt{\text{オ}}}{\text{カ}}BD$ であり、また、正弦定理により

$AD = \sqrt{\text{キ}} BD$ となる。

したがって、 $AD = \text{ク} \sqrt{\text{ケ}}$ である。

55 [2005センター]

A, B は $0 < A < B$ を満たす定数とする。 $0^\circ \leq \theta < 180^\circ$ の範囲で関数

$$f(\theta) = A \sin^2 \theta + (A + B) \sin \theta \cos \theta + B \cos^2 \theta \quad \dots\dots \textcircled{1}$$

の最大値が $10 + 2\sqrt{29}$, 最小値が $10 - 2\sqrt{29}$ であるとする。

(1) $A = b - a, B = b + a$ において ① の右边を変形すると

$$f(\theta) = \sqrt{\quad} (\cos^2 \theta - \sin^2 \theta) + \sqrt{\quad} \sin \theta \cos \theta + \sqrt{\quad}$$

$$= \sqrt{a^2 + b^2} \sin(\sqrt{\quad} \theta + \alpha) + \sqrt{\quad}$$

となる。ただし、 α は $\tan \alpha = \frac{\text{カ}}{\text{キ}}$ を満たす角で $0^\circ < \alpha < 90^\circ$ とする。

(2) $f(\theta)$ が最大となるのは $\theta = \frac{\text{クケ}}{\text{コ}}^\circ - \alpha$ のときで、最小となるのは

$\theta = \frac{\text{サシ}}{\text{ソ}}^\circ - \alpha$ のときである。また、 $f(\theta)$ の最大値, 最小値の条件を用いると

$A = \sqrt{\quad}$, $B = \sqrt{\quad}$ であることがわかる。

56 [2004センター]

平面上に 2 点 O, P があり, $OP = \sqrt{6}$ である。点 O を中心とする円 O と点 P を中心とする円 P が 2 点 A, B で交わっている。

円 P の半径は 2 であり, $\angle AOP = 45^\circ$ である。このとき, 円 O の半径は

$$\sqrt{\quad} + \sqrt{\quad} \quad \text{または} \quad \sqrt{\quad} - \sqrt{\quad}$$

以下, 円 O の半径が $\sqrt{\quad} - \sqrt{\quad}$ のときを考える。

$AB = \sqrt{\quad} - \sqrt{\quad}$ である。よって, 四角形 AOBP の面積は

$$\sqrt{\quad} - \sqrt{\quad}$$

$\cos \angle APB = \frac{\sqrt{\quad}}{\quad}$ であるから, $\angle APB = \text{ケコ}^\circ$ である。

扇形 PAB, 扇形 OAB の面積を計算することにより, 円 O の内部と円 P の内部の共通部分の面積は

$$\frac{\text{サ}}{6} - 3\sqrt{\quad} \pi - \left(\sqrt{\quad} - \sqrt{\quad} \right)$$

57 [2004センター]

平面上に2点O, Pがあり, $OP = \sqrt{6}$ である. 点Oを中心とする円Oと点Pを中心とする円Pが, 2点A, Bで交わっている. 円Pの半径は2であり, $\angle AOP = 45^\circ$ である.

このとき, 円Oの半径は $\sqrt{\square} + \square$ または $\sqrt{\square} - \square$ である.

以下, 円Oの半径が $\sqrt{\square} - \square$ のときを考える.

$AB = \sqrt{\square} - \sqrt{\square}$ である.

また, OAのA側への延長と円Pとの交点をCとすると, 三角形ABCについて,

$\angle BAC = \square^\circ$, $BC = \square \sqrt{\square}$ である.

58 [2004センター]

a を $0^\circ < a < 180^\circ$ を満たす角度とする. $0^\circ \leq \theta \leq 180^\circ$ の範囲で関数 $f(\theta) = \sin(\theta - a) - \sin \theta$ を考える.

(1) 方程式 $f(\theta) = 0$ の解 θ は a を用いて $\theta = \square^\circ + \frac{a}{2}$ と表される.

さらに, この解 θ が $\sin(\theta - a) = \frac{1}{2}$ を満たすならば $a = \square^\circ$ である.

(2) a を(1)で求めた角度とすると, 関数 $f(\theta)$ は

$\theta = \square^\circ$ のとき最大値 $\frac{\sqrt{\square}}{\square}$

$\theta = \square^\circ$ のとき最小値 $-\sqrt{\square}$ をとる.

59 [2004センター]

半径 $4\sqrt{7}$ の円 O に内接する三角形 ABC が $AB=14$, $\cos \angle ABC = \frac{3}{4}$ を満たしている。

このとき, $\sin \angle ABC = \frac{\sqrt{\square}}{\square}$, $AC = \text{ウエ} \square$ であり, $BC = \text{オカ} \square$ である。

さらに, $\angle ABC$ の 2 等分線と円 O との交点のうち B と異なる方を D とする。

$\angle ABC = \angle AOD$ であるから, $AD = \text{キ} \square \sqrt{\text{クケ} \square}$ である。

さらに, $\sin \angle ADC = \frac{\sqrt{\text{コ} \square}}{\text{サ} \square}$ であるから, 三角形 ACD の面積は

$\text{シ} \square \sqrt{\text{ス} \square}$ である。

60 [2004センター]

半径 $4\sqrt{7}$ の円 O に内接する三角形 ABC が $AB=14$, $\cos \angle ABC = \frac{3}{4}$ を満たしている。

このとき, $\sin \angle ABC = \frac{\sqrt{\square}}{\square}$, $AC = \text{ウエ} \square$ である。

さらに, $\angle ABC$ の 2 等分線と円 O との交点のうち B と異なる方を D とする。

$\angle ABC = \angle AOD$ であるから, $AD = \text{オ} \square \sqrt{\text{カキ} \square}$ である。

また, 三角形 AOD の面積は $\text{クケ} \square \sqrt{\text{コ} \square}$ である。